

## 人事委員会議事録（第1659回）

### 1 開催日時

令和3年6月3日（木）15：00～16：00

### 2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

### 3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	吉川昭裕	給与課長
	岡野揮代美	任用課副課長兼給与課副課長

## 開 会

### 第1号議案

#### 議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1658回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

### 第2号議案

#### 職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部を改正する条例の制定に伴う意見の件

給与課長が、標記条例の制定に伴う意見について内容等を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

### 第3号議案

#### 採用選考並びに職務の級及び号給決定の件

給与課長が、病院事業管理者から請求のあった採用選考（発令予定令和3年6月16日）並びに職務の級及び号給について説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

## 報告事項1

### 行政A（大卒程度）・資格免許職採用試験の申込状況

任用課長が、標記試験の申込状況を報告した。

（委員）

申込者数の増減理由として、採用予定者数の増減の影響という説明があったが、必ず

しもそれだけではないのではないかと。

(事務局)

児童福祉司や機械職など、採用予定数と申込者数の増減に関連が見られない職種もある。

(委員)

申込者数が大きく減少した職種は、他府県の状況と比較するなどして理由を分析する必要がある。分析の結果、改善できる点があるなら対策を講じてほしい。

(委員)

申込者数全体では女性が50%を超えているが、増加傾向にあるのか。

(事務局)

栄養士や薬剤師は女性の申込者の比率が非常に高いので、申込者全体では例年、約半数が女性を占める。一般事務職の男女比は概ね6：4である。

(委員)

コロナ禍で保健師の確保に苦慮するのではと心配していたが、申込者数が増えており安堵した。

## 報告事項2

### 新型コロナウイルス感染症に係るサービスの取扱い

給与課長が、標記取扱いの内容等を報告した。

(委員)

特別休暇と職務専念義務の免除とではどのような違いがあるのか。

(事務局)

いずれも給与は減額されないが、特別休暇は、結婚など職員側の私的な事由で取得できる有給の休暇であり、職務専念義務の免除は、研修や定期健康診断などの厚生計画に参加する場合のように任命権者が職務に準ずるものと認めた場合に行われる。今回は国が広く接種を進めていることから、職務に準ずるものとして職務専念義務を免除する。

(委員)

ワクチン接種を職務専念義務の免除とする取扱いはいつまで続けるのか。

(事務局)

今回新たに決めた取扱いは、新型コロナウイルスのワクチン接種に限定したものである。今年接種を受ける2回分を想定しているが、今後の新型コロナウイルスのワクチン接種を取り巻く状況を踏まえ適宜必要な見直しを行う。

## 報告事項3

### 任命権者が行った処分

任用課長が、教育委員会及び警察本部長が行った5件の懲戒処分の内容及び理由を説明した。

(委員)

警察本部の事案の被処分者は退職したのか。相手の職員が処分されなかったのは甘い

のではないか。

(事務局)

被処分者は、処分後、依願退職している。相手の二人は、地方公務員法に基づく懲戒処分ではないが、訓戒処分になっている。

(委員)

交通事故の処分について、加害者と被害者の過失割合が100:0のケースにまで、過失割合50%超の処分量定を単純にあてはめるのはおかしいのではないか。

#### 報告事項 4

##### 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律

任用課長が、標記法律について報告した。

(委員)

新法のもとでも、児童生徒性暴力等で懲戒免職になっても、教員免許を再取得できるということか。

(事務局)

教育職員免許状再授与審査会の意見を聴いた上、更正の状況等その後の事情に照らして適当であると認められた場合に限定して、免許状が再授与される。

閉 会